

# 中間報告の概要

概要版

## 1 調査の目的

市が設置する銀河アリーナ(淵野辺公園内立地)は、老朽化が著しく、スケート施設として維持するためには多くの費用が必要であることから、令和9年3月で閉鎖となる。一方、貴重なアイススケート場として市民に愛されてきた施設であり、オリンピックアスリートを輩出してきた実績があることなどを踏まえ、本調査は、民間主導によるアイススケート場(民間アイススケート場)の設置・運営の可能性について検討を行うことを目的とする。

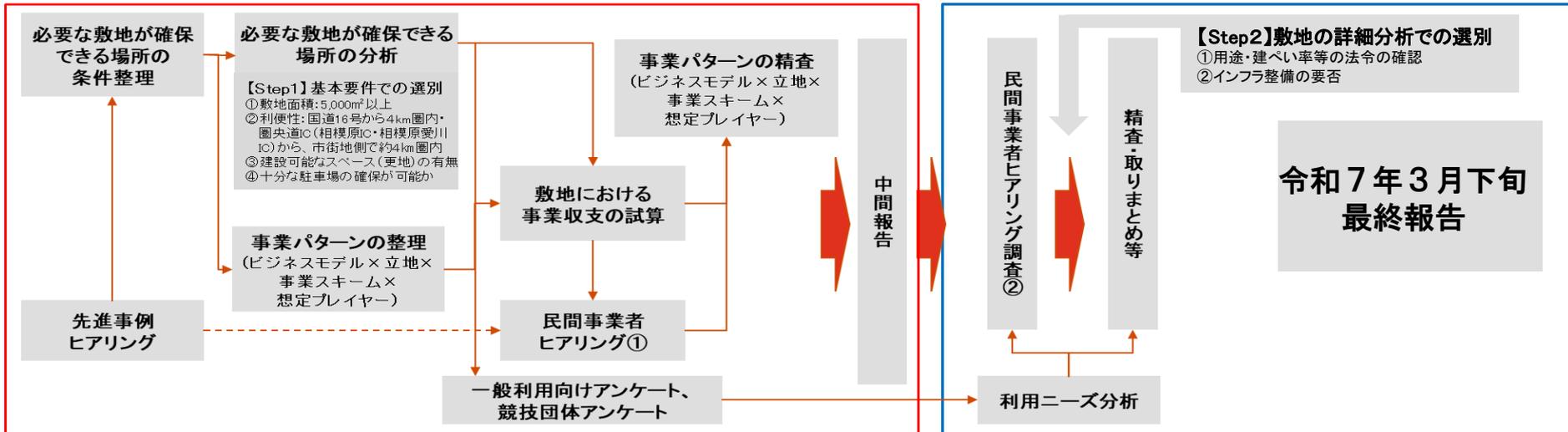
## 2 中間報告のまとめ

- ①民間主体で整備・運営事業を行う上では、交通利便性や商業・レジャー施設との近接性などの立地条件や駐車場の確保など**敷地規模の条件に合致する必要がある**
- ②市内で活用可能な敷地の中で、条件に適した敷地は限られ、今後、**法令上の制約に関する課題分析や関係者との合意形成が必要**
- ③民間で**独立採算型の事業スキームの実現性はハードルが高い**

## 3 今後の調査における留意点

- ①一般利用者向けアンケート、競技団体アンケートによるマーケットの精査
- ②民間事業者ヒアリング調査による事業パターン精査
- ③アンケート・ヒアリング等を踏まえた収支シミュレーションの精査

### 中間報告の範囲



## 4 今後のスケジュール等

現在、民間事業者ヒアリング調査②を行っており、**最終報告(令和7年3月下旬)**を踏まえ、**市の対応方針を検討する**